



赤名地域まちづくり連絡会が主催する恒例のイベント「第19回銀山街道ウォーキング」が開催されました。
陰陽を結んだ銀の道を歩く「銀山街道ウォーキング」と、戦国武将たちの息吹を感じる「衣掛山・武名ヶ平山周遊登山」のうち、参加者は希望のコースを選択。約2、3時間をかけ、周囲の景色や歴史を感じながら歩きました。
街道コースでは、古民家で着物姿の町娘がお茶を渡すなど、当時の雰囲気再現する演出に参加者は楽しみました。



熱心にガイドの話を聞く登山コースの参加者



往年の道をたどる 銀山街道ウォーキング

10.5
日



小学生が交通安全を呼びかけ 運転マナーアップ作戦

秋の全国交通安全運動にあわせ、スポーツ少年団が道の駅頓原で交通安全を呼びかける運動が、飯南町交通安全対策協議会の主催で行われました。
本町の特産品であるりんご（アップル）と運転マナーアップを掛けた「マナーアップル作戦」と愛称をつけ、交通事故防止を目的に平成17年の合併当初から行われている活動です。
当日は、少年野球チームの飯南ワイルドボアーズから約20人が参加。国道54号を通行する車に啓発チラシやりんごなどを手渡し、交通ルールを守り安全運転することを呼びかけました。



「信号や横断歩道に気を付けて、安全運転してください」と声かけ

9.29
月



力強い唄声を響かせ 全国相撲甚句会全国大会出場

新潟県佐渡市で開催された第12回全国相撲甚句会全国大会に、野見宿禰赤名相撲甚句会が参加しました。
相撲甚句の普及や愛好家同士の交流を目的とした大会で、全国各地から13団体が参加。約100人の参加者全員による合唱からスタートし、各団体が日頃の練習の成果を披露しました。
野見宿禰赤名相撲甚句会は、上赤名がルーツだと言われている相撲の元祖「野見宿禰」を称える唄を披露し、会場を盛り上げました。



前回の飯南町大会から7年ぶりの全国大会

9.20
土



スポーツを通して交流を深める 令和7年度志々地区合同体育大会

志々小学校と志々地区スポーツ協会の共催で、小学生と住民による合同体育大会が開催されました。
小学生14人と、5つの地区に分かれた住民がさまざまな種目に挑戦。志々小学校全校児童がパフォーマンスを披露し、息の合った躍りに、会場からは大きな声援が送られました。
世代を超えて競技を楽しめるようにと、志々地区スポーツ協会が趣向を凝らした種目を準備。バケツにスパーボールを投げ入れる玉入れなどユニークな種目に笑顔の絶えない体育大会となりました。



ユニークな種目を通して年齢を超えた交流を楽しみました

9.20
土



みんなの力でまちを楽しく みんきじカーニバル

来島地区の地域づくりに取り組む来島ビジョン推進会議主催の「みんきじカーニバル」が開催されました。
多肉植物の寄せ植え教室、プラモデルの制作体験などのワークショップや、ハンドメイドアクセサリー、クロモジ茶の販売など、住民の特技や趣味を生かしたブースが並びました。
来島小3、4年生は、草木染めした布で作ったヘアゴムなど小物を販売。赤来中の生徒は、卒業研究に関するアンケート調査を行うなど、地域の子どもの活躍も見られました。



屋外には飲食ブースも出店し1日中楽しめるイベントとなりました

9.27
土



大人も子どもも一緒に競う 赤名町民体育大会

「第54回赤名町民体育大会」が赤名小学校のグラウンドで開催されました。
当日は、保育所児童から大人まで約70人が参加し、借り物競争やパン食い競争などの種目で競い合いました。最後の競技として行われた地区対抗リレーでは、先を走るアンカーが残り2チームのアンカーを待って走り出すなど、和気あいあいとした大会となりました。
普段あまり顔を合わせる機会のない人同士の交流が生まれ、会話を楽しんでいます。



接戦が繰り広げられた玉入れ

9.28
日



田舎の秋を体験 姉妹都市交流イベント

姉妹都市である兵庫県伊丹市との交流イベントが佐見地区で行われました。
経験する機会の少ない農作業体験や自然と触れ合う機会、佐見地区の住民との交流を目的として、伊丹市の市民が本町を訪問。伊丹市からは、高校生やカナダ、アルゼンチン出身者など合わせて22人が参加しました。
初日は谷地区程原のふれあい養魚場でのやまめ釣りや、佐見地区で野菜の収穫や栗拾いを体験。素手で土に触れながら、白ネギや里芋を収穫しました。



土を掘り起こして里芋を収穫

10.4
土



フクロウに似たヨズクハダに稲束をかけて